

# ひのほら 議会だより

8

2019.8.1  
No.158

令和元年檜原村議会第1回臨時会が5月10日に開催され、正副議長をはじめ、各委員会・役職など新たな議会構成が決まりました。

就任あいさつ

議長 中村賢次



副議長 峰岸茂



この度、議員の皆様方のご推挙をいただき、議長並びに副議長の要職に就かせていただきました。身に余る光栄であると同時に職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

檜原村は、今年度から第5次総合計画の後期5年間の計画をスタートしました。この計画に基づき村では、「森と清流を蘇らせ 未来に誇れる活力のある村」を目指して数々の事業を実施していく予定としています。

議会に課せられた役割は大きく、住民の皆様へのニーズに答えられる意思決定機関として、執行機関と連携し、時には行政運営を監視、評価して、「安心・安全な村づくり」と住民福祉の向上のため努力する所存でございます。

村民の皆様におかれましては、村議会へのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶いたします。

# 議員紹介



まつむら てつろう  
**松村 哲朗 (42歳)**

- 会派 無所属
- 家族 妻・子3人・両親
- 趣味 ワイン・音楽・松原太鼓
- 議員歴 1期目
- 議席番号 6



はまなか よしぞう  
**浜中 由造 (65歳)**

- 会派 公明党
- 家族 妻
- 趣味 畑・読書・スポーツ
- 議員歴 2期目
- 議席番号 1



しみず ひょうご  
**清水 兵庫 (66歳)**

- 会派 無所属
- 家族 妻・子3人・姉
- 趣味 読書・獅子舞の伝承
- 議員歴 3期目
- 議席番号 7



のむら まさみ  
**野村 雅巳 (58歳)**

- 会派 檜原新政会
- 家族 妻・子3人・両親
- 趣味 釣り・ゴルフ・式三番
- 議員歴 1期目
- 議席番号 2



しみず みつお  
**清水 満男 (71歳)**

- 会派 檜原新政会
- 家族 妻・子4人
- 趣味 家庭菜園
- 議員歴 2期目
- 議席番号 8



みなぎし しげる  
**峰岸 茂 (68歳)**

- 会派 檜原新政会
- 家族 妻・子3人
- 趣味 家庭菜園
- 議員歴 2期目
- 議席番号 3



やまざき げんじゅう  
**山崎 源重 (61歳)**

- 会派 檜原新政会
- 家族 妻・子3人・母
- 趣味 山登り
- 議員歴 5期目
- 議席番号 9



なかむら けんじ  
**中村 賢次 (67歳)**

- 会派 檜原新政会
- 家族 子3人
- 趣味 映画(DVD)鑑賞・ゴルフ
- 議員歴 3期目
- 議席番号 4



もりた  
**森田 ちづよ (71歳)**

- 会派 檜原新政会
- 家族 夫・子2人
- 趣味 料理・歌・園芸
- 議員歴 3期目
- 議席番号 5

# 檜原村議会議員役職構成

◎委員長 ○副委員長

各種委員会名		
正副議長		議長 中村賢次 副議長 峰岸 茂
委員会 常任	総務常任委員会委員	◎山嵯源重 ○清水兵庫 野村雅巳 中村賢次 森田ちづよ
	産業建設常任委員会委員	◎浜中由造 ○清水満男 峰岸 茂 松村哲朗
議運	議会運営委員会委員	◎清水兵庫 ○浜中由造 野村雅巳 森田ちづよ 清水満男
檜原村監査委員		森田ちづよ
一部事務組合	阿伎留病院企業団議会議員	監査 山嵯源重 野村雅巳
	西秋川衛生組合議会議員	監査 清水兵庫 浜中由造
	秋川流域斎場組合議会議員	副議長 清水満男 峰岸 茂
村内各種委員会	檜原村国民健康保険運営協議会委員	野村雅巳 清水兵庫
	檜原村民生委員推薦会委員	中村賢次
	檜原村青少年問題協議会委員	野村雅巳 山嵯源重
三多摩上下水及び道路建設促進協議会委員		峰岸 茂 山嵯源重 浜中由造
多摩地域都市モレール等建設促進協議会委員		中村賢次 浜中由造
三鷹・立川間立体化複々線促進協議会委員		中村賢次 山嵯源重
西多摩地域広域行政圏協議会委員		中村賢次 峰岸 茂 山嵯源重
秋川流域市町村下水道建設促進協議会委員		会長 中村賢次 理事 峰岸 茂 浜中由造 山嵯源重
秋川南岸道路建設促進協議会委員		副会長 浜中由造 監査 清水満男 峰岸 茂 松村哲朗
主要地方道上野原・あきる野線建設促進協議会委員		常任理事 中村賢次 常任理事 清水兵庫 理事 浜中由造 理事 山嵯源重 監査 峰岸 茂 野村雅巳 森田ちづよ 松村哲朗 清水満男
奥多摩町・檜原村間連絡道路建設促進協議会委員		浜中由造 峰岸 茂 中村賢次 清水兵庫 清水満男 山嵯源重
JR五日市線改善促進協議会委員		浜中由造 峰岸 茂 中村賢次 清水満男 山嵯源重
秋川流域がん対策推進議員連盟		副会長 野村雅巳 浜中由造 峰岸茂 中村賢次 森田ちづよ 松村哲朗 清水兵庫 清水満男 山嵯源重
日の出町谷戸沢廃棄物広域処分場環境影響評価委員会委員		浜中由造
議会だより編集委員会		◎清水兵庫 ○野村雅巳 森田ちづよ 松村哲朗



このようなことを審議いたしました

# 令和元年第1回臨時会

5月10日の1日間開催し、村長提出案件5件が提出され、すべてが原案どおり可決されました。

## 専決処分

### 議案第28号

専決処分の承認を求めることについて（檜原村税賦課徴収条例等の一部を改正する条例）

（説明）

地方税法等の改正に伴い、個人住民税や軽自動車税の改正等を行うものです。

### 議案第29号

専決処分の承認を求めることについて（檜原村国民健康保険条例の一部を改正する条例）

（説明）

地方税法等の改正に伴い、課税限度額の引き上げや、軽減対象となる所得の基準について変更するものです。

### 議案第30号

専決処分の承認を求めることについて（檜原村介護保険条例の一部を改正する条例）

（説明）

消費税率の引き上げに伴い、第1号被保険者の保険料率を引き下げるものです。

### 議案第31号

専決処分の承認を求めることについて（平成30年度檜原村国民健康保険特別会計（事業勘定第4次）補正予算）

（説明）

補正額 1千113万2千円を増額し、総額を4億1千713万2千円とするものです。

## 人事

### 議案第32号

檜原村監査委員の選任について

（説明）

議会選出の監査委員に森田ちづよ氏を選任しました。

## 議会を傍聴しませんか

傍聴される方は、議会事務局入口で「傍聴人受付票」に必要事項を記入していただいた後、「議会傍聴券」をお持ちになり議場へ入場してください。



お問い合わせは議会事務局へ 電話 598-1128

このようなことを審議いたしました

# 令和元年第2回定例会

6月3日～6月14日の12日間開催し、村長提出案件11件が提出され、すべてが原案どおり可決されました。

## 契約

### 議案第33号

庁舎空調設備等改修工事請負契約について

(説明)

設備老朽化に伴い庁舎空調設備等を改修するものです。

○契約の方法 指名競争入札

○契約金額 1億6千887万円

○契約の相手方 (株)セイショウ

### 議案第34号

村営住宅建設工事(その1)請負契約について

(説明)

上元郷地区に戸建て住宅5棟を建設するものです。

○契約の方法 指名競争入札

○契約金額 1億2千320万円

○契約の相手方 小林建築

### 議案第35号

村営住宅建設工事(その2)請負契約について

(説明)

上元郷地区に長屋風住宅

(メゾネットタイプ)1棟(4世帯)を建設するものです。

○契約の方法 指名競争入札

○契約金額 4千977万4千780円

○契約の相手方 笛吹建設(有) ※メゾネットタイプとは、住戸内が2階層以上に分かれているものです。

## 条例

### 議案第36号

檜原村簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例

### 議案第37号

檜原村下水道条例の一部を改正する条例

### 議案第38号

檜原村国民健康保険檜原診療所使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例

(説明)

議案第36号から38号は、消費税率の改正に伴い使用料等を改正するものです。

## 人事

### 議案第39号

檜原村副村長の選任について

(説明)

副村長の任期満了に伴い、引き続き八田野芳孝氏を副村長に選任するものです。

### 議案第40号

檜原村監査委員の選任について

(説明)

監査委員の任期満了に伴い、引き続き福田宮夫氏を監査委員に選任するものです。

### 議案第41号

檜原村固定資産評価審査委員会委員の選任について

(説明)

固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、引き続き岡部美彦氏を委員に選任するものです。

### 議案第42号

檜原村教育委員会委員の任命について

(説明)

教育委員会委員の任期満了に伴い、引き続き土屋要一氏を教育委員に任命するものです。

## 補正予算

### 議案第43号

令和元年度檜原村一般会計補正予算(第1次)

(説明)

補正額 4千854万円を増額し、総額を36億5千954万円とするものです。

## 陳情

### 陳情第4号

奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書

※陳情の内容については、7ページの委員会報告をご覧ください。

## 令和元年第1回臨時会で審議された議案と議決結果

議長 中村 賢次 ○=賛成 ×=反対

区分	議案名	議席番号及び議員名								議決結果
		1	2	3	5	6	7	8	9	
		浜中 由造	野村 雅巳	峰岸 茂	森田 ちづよ	松村 哲朗	清水 兵庫	清水 満男	山崎 源重	
専決処分	第28号	専決処分の承認を求めることについて (檜原村税賦課徴収条例等の一部を改正する条例)								承認
	第29号	専決処分の承認を求めることについて (檜原村国民健康保険税条例の一部を改正する条例)								承認
	第30号	専決処分の承認を求めることについて (檜原村介護保険条例の一部を改正する条例)								承認
	第31号	専決処分の承認を求めることについて (平成30年度檜原村国民健康保険特別会計(事業勘定 第4次)補正予算)								承認
人事	第32号	檜原村監査委員の選任について								同意

## 令和元年第2回定例会で審議された議案と議決結果

議長 中村 賢次 ○=賛成 ×=反対

区分	議案名	議席番号及び議員名								議決結果
		1	2	3	5	6	7	8	9	
		浜中 由造	野村 雅巳	峰岸 茂	森田 ちづよ	松村 哲朗	清水 兵庫	清水 満男	山崎 源重	
契約	第33号	庁舎空調設備等改修工事請負契約について								可決
	第34号	村営住宅建設工事(その1)請負契約について								可決
	第35号	村営住宅建設工事(その2)請負契約について								可決
条例	第36号	檜原村簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例								可決
	第37号	檜原村下水道条例の一部を改正する条例								可決
	第38号	檜原村国民健康保険檜原診療所使用料及び手数料に 関する条例の一部を改正する条例								可決
人事	第39号	檜原村副村長の選任について								同意
	第40号	檜原村監査委員の選任について								同意
	第41号	檜原村固定資産評価審査委員会委員の選任について								同意
	第42号	檜原村教育委員会委員の任命について								同意
補正予算	第43号	令和元年度檜原村一般会計補正予算(第1次)								可決
陳情	第4号	奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税で順 次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書								不採択

# 各委員会報告

## 総務委員会報告

総務委員会は、6月6日に開催し、総務委員会運営方針及び常任委員会視察研修について審議を行いました。

総務委員会運営方針については、基本方針として、

委員会運営において地方自治法に定められた権限と、檜原村議会委員会条例に定められた所管事務の内容について確認を行いました。

さらに、委員会運営全般と、調査・審査・意見聴取の実施について各委員が共通認識を持ち、今後の委員会活動をより効果的かつ活発なものにするため、協議事項の確認を行いました。

委員長 山崎 源重

## 産業建設委員会報告

産業建設委員会は、6月7日に開催し、1件の陳情審査と産業建設委員会運営方針、常任委員会視察研修について審議を行いました。

### ○陳情第4号 奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書

本陳情の趣旨は、「森林環境譲与税を、村内の放置人工林を皆伐して、天然林にするための事業に使用したい」とする内容です。

審査結果 不採択

審査の結果、「檜原村には人工林が多くあるが、生活に密接しており直ちに皆伐することは難しいと考える。天然林にする事業も村で実施されており、現状を見守るべき」「村は、これから森林環境譲与税をもとに山林所有者の意向調査や森林整備を行っていく。村の森林整備計画とも反するので賛成できない」など不採択とすべきとの意見が全員からありました。

委員長 山崎 源重

委員長 浜中 由造

## 議会だよりに「声」をお寄せ下さい

お気軽にご意見・ご要望をお聞かせください。  
お寄せいただいた意見は全議員に配布し、今後の議会運営の参考にさせていただきます。

お問い合わせは、  
議会だより編集委員会へ

TEL 598-1128 FAX 598-1009  
Email : gikai@vill.hinohara.tokyo.jp



# 一般質問

# 登壇8人 村政を問う

6月議会の一般質問は6月3日に行われました。  
内容は、要約して受付順に掲載しています。

森田 ちづよ

議員



## 檜原村福祉センターの建替えと施設機能強化について

住民の皆さんを巻き込んで  
建て替えの準備段階に入ればと思う

替えることが望ましいと考えるが。

**村長** ①住民が気軽に利用できる集会場として活用されていると考える。

②現時点では建替えの計画はないが、活用方法や地域特性を踏まえた施設機能を検討し、より利用しやすい施設としていきたい。

**質問** ①福祉センターは、主に老人福祉増進のための施設と考えるがどうか。

②活用方法や地域特性を踏まえた施設機能の検討について具体的な考えは。

**総務課長** ①老人の福祉施設ではあるが、住民の方に多くの目的で活用されている。

②建替の計画はないが、建替の際には、地域の皆様や利用者の意見・要望を参考にしたい。

**質問** 建て替えの際には、高齢者のフリースペース的な場所の設置や住宅との複合施設にすることを提案する。

**村長** 住民の皆さんを巻き込んで建て替えの準備段階に入ればと思う。

以下について伺う。

①村は、福祉センターをどのように位置づけているのか。

②高齢者が多い地域特性に配慮した設計により、建て

な場所の設置や住宅との複合施設にすることを提案する。

**村長** 住民の皆さんを巻き込んで建て替えの準備段階に入ればと思う。

①福祉センターは、主に老人福祉増進のための施設と考えるがどうか。

②活用方法や地域特性を踏まえた施設機能の検討について具体的な考えは。

**総務課長** ①老人の福祉施設ではあるが、住民の方に多くの目的で活用されている。

②建替の計画はないが、建替の際には、地域の皆様や利用者の意見・要望を参考にしたい。

**質問** 建て替えの際には、高齢者のフリースペース的な場所の設置や住宅との複合施設にすることを提案する。

**村長** 住民の皆さんを巻き込んで建て替えの準備段階に入ればと思う。

以下について伺う。

①村は、福祉センターをどのように位置づけているのか。

②高齢者が多い地域特性に配慮した設計により、建て





峰岸 茂

議員



## 避難所施設の 機能充実について

シャワー設備・自立型ソーラー  
スタンドの設置は検討したい

①避難所の運営や避難者支援等についての村の考えは。

②避難所には発電機や投光器等が配備されているが、

今後も資器材の追加を行うのか。

③避難所にシャワー等の設備を設置出来ないか。

**村長** ①大規模な災害が発生した場合、避難所の開設や初期段階での運営は、地域の方のご協力をいただきたいと考えている。

②今年度、避難者が利用できるダンボール製のマットを購入する。

③コミュニティセンター等3か所の避難所には、シャワー等の設備がないので地域の方と協議し検討したい。

**質問** 村は、6月中旬に檜原全域で土砂災害特別警戒区域の指定を完了する。また、各地域で行った説明会では、土砂災害を予見したら早めに避難所へ避難することが重要とのことだった。そこで以下の点について伺う。

**質問** 避難生活の長期化で住民が一番必要とするのは、携帯電話の充電装置である。WiFi機能があ

り、多数の携帯電話へ一度に充電可能な自立型ソーラースタンドを各コミュニティセンターへ設置できないか。

**総務課長** 災害時に有効性が高いと考えるが、自立型ソーラースタンドなどの設置箇所や必要数については今後検討したい。

**質問** 消防団は、全国的に団員の確保に苦労しており、団員確保は喫緊の課題である。そこで以下の点について伺う。

①消防団の処遇等の改善策として報酬、出動手当、家族への支援策が必要と考えるが、いかがか。

②改正道路交通法が施行され、消防車両の運転には、新設の準中型自動車免許が必要となる。免許を取得する団員への支援として免許取得経費の一部を助成できないか。

**村長** ①平成28年度の報酬等の引き上げから3年経過した。本年度、報酬審議会に諮問し、検討していきたい。

②ポンプ車の運転に支障があれば、支援の方法も含め検討していきたい。

**質問** 消防団員確保の取組みとして、消防団サポート

事業、やすらぎの湯や数馬温泉センターで利用できるチケット配布や割引、団員家族の消防操法大会や出初式等への招待などができないか。

**総務課長** 消防団サポート事業、消防操法大会、出初式等の招待については、消防団とも協議していきたい。やすらぎの湯、数馬温泉センターのチケット配布、割引等は、担当課、事業者に意向を確認し協議していきたい。

**質問** 消防団員確保の取組みとして、消防団サポート

事業、消防操法大会、出初式等の招待については、消防団とも協議していきたい。

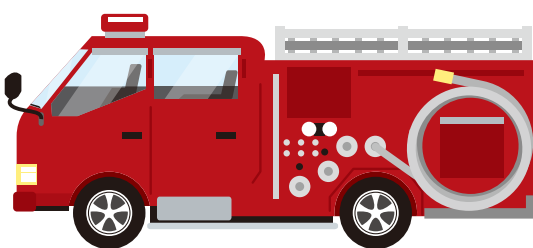
**村長** ①平成28年度の報酬等の引き上げから3年経過した。本年度、報酬審議会に諮問し、検討していきたい。

②ポンプ車の運転に支障があれば、支援の方法も含め検討していきたい。

**質問** 消防団員確保の取組みとして、消防団サポート

事業、消防操法大会、出初式等の招待については、消防団とも協議していきたい。

**村長** ①平成28年度の報酬等の引き上げから3年経過した。本年度、報酬審議会に諮問し、検討していきたい。



山 崎 源 重

議員



## 檜原村郷土資料館について

来館者は十分満足している  
と思っている

を実施している。

集客数は平成30年度は、6年ぶりに3千人を越えた。

**質問** ①村内の小学生が郷土資料館を利用することがあるのか。

②何らかの企画を立てた場合、どのように周知しているのか。

③五日市郷土館の例にならって説明員を養成することとどうか。

**教育課長**

①小学校では3年生が社会科のカリキュラムとして、自分の地域「檜原村」の歴史について学ぶ学習があり、昔の暮らしや道具について学び、6年生では総合的な学習の時間で、檜原村の歴史を学び、郷土資料館を利用している。

②周知の方法は、村ホームページ・広報に掲載し、村内にチラシやポスターを掲示している。

③資料館の案内業務には、

村を熟知している人を雇用しているので、来館者は十分満足していると思っています。現時点では、説明員の養成は考えていない。

### 檜原村史の編纂について

何らかの形で残していくよう検討する

**質問**

令和の時代となり、前回の村史の発行から38年経過した。後世に継承する資料として、村史の編纂をするべきだと思うが、いかがか。

**教育課長**

最近、冊子の形式をとらず、データ化して保存しているところも多々ある。何らかの形で、昭和56年度以降の歴史の収集と保存を検討したい。

**質問**

どのような形であるにせよ、後世につなげてい

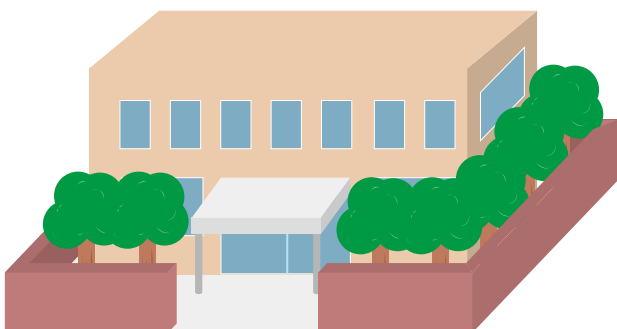
く意味でも進めてほしい。

前回の村史について、何点か誤りがあるという話もある。それも含めて間に合わなかったということのないようにしてほしい。

**教育課長**

村史の間違って

いる箇所指摘については、歴史の専門家の研究等により、歴史的事象や名称が変わってきている場合もある。昭和56年度以降の歴史の収集と保存については冊子の型式をとらず、現時点の知見を資料として何らかの形で残していくよう検討したいと考える。



松村 哲朗

議員



## 村営住宅への定住化に関する周辺環境の整備について

子どもが育つ周辺環境の整備は必要なことであると考え

う。

①村営住宅への定住化に関する子どもが育つ周辺環境の整備の必要性について、村の考えは。

②村営住宅への定住化と地域コミュニティ参加は相关性があると考え、村の考えは。

**村長** ①子どもが育つ周辺環境の整備は、必要なことであると考え、村には、宅地が少なく、宅地造成には多額の費用がかかる。村営住宅の建設では、子どもが遊ぶための専用スペース等の設置は、確保できないのが現状である。

**質問** 村営住宅のある地域に明確に子どもが増えていることから、子育て世帯の定住化を考えると、地域コミュニティへの参加や子どもの成長に合わせた村営住宅の周辺環境は、十分に考慮され、整備されるべきである。

②村営住宅への定住化と地域コミュニティ参加は、相互性があると考え、村営住宅の入居に当たっては、自治会や消防団へ入ることを条件とすることはできないので、あくまでも本人の意思を尊重するものと

ついで。

### 滞在型観光の構築と振興について

今後も計画的に整備を進めていきたい

**質問** 村内において、比較的移動が容易である観光拠点を結び移動手段の整備を行い、相乗的に観光振興を図ることで、さらなる観光客の誘致と消費の拡大が期待できると考える。

①村観光資源の活用に関する村の施策対応の現状と今後の施策展開の方向性について。

②檜原村内における複数の観光拠点の連続的活用について村の考えは。

村の考えは。

**村長** ①檜原村エコツーリズム推進構想の認定を国から受けることができたので、今後も計画的に整備を進めていきたい。

②二次交通の確保、観光資源の充実の観点から観光協会がレンタサイクル事業を展開しており、今後さらに観光協会等と連携を図っていく。

③観光拠点を結ぶバス等については、生活バス路線と競合すること、法的にも難しいと考えられるので、導入は考えていない。現在の生活バス路線を維持した形で、周遊券等の事業展開が図れないかなど、担当課には指示をしている。





野村雅巳

議員



## 村内居住者の定住化・永住促進に係る住宅施策について

宅地造成の補助について、その妥当性も含めて検討したい

えは。

**村長** ①村では平成19年度

から、村内に新規に住宅を

建設または購入し、居住す

る若年世帯に一定の条件を

付して補助する制度を創設

している。今後も、新たな

制度の創設、空き家の買い

取りや寄附をしていただ

き、村営住宅の建設を進め

ていく。

②村に住み続けるための宅

地造成の補助について、そ

の妥当性も含めて検討した

い。

**質問** この助成制度の検討

結果を、来年度の予算編成

事務に取りかかる前の10月

を目的に示していただきた

いが、村としての考え方は。

**企画財政課長** 助成制度に

関しては、対象とする工事

や補助の対象者、補助の妥

当性も考慮し、慎重、かつ

スピーディーに制度の構築

をしていきたい。

## 檜原村保育料助成制度について

副食費等に関して全額補助

できるよう進めていく

**質問** ①村保育料助成制度

の現時点における運営状況

と今後の見通しについて。

②村保育料助成制度の今後

の新たな施策展開の可能性

について。

**村長** ①平成30年度保育料

助成制度の実績は、補助対

象児37名に対し、363万7千

100円となっている。今後の

見通しは、国の予定してい

る改正では、10月以降、3

歳児以上の保育料が無償化

となる見込みなので、村は

3歳未満の児童を対象に保

育料補助制度は継続してい

く予定である。

②今まで保育料に含まれて

いた給食等の食材料費につ

いて、副食費として保護者

負担が増加するケースもあ

ることから、保護者の新た

な負担が生じないよう、何

らかの軽減措置を講ずるよ

う努める。

**質問** 村行政に保育園の副

食費について、保護者の負

担軽減を図るため、全額補

助する制度はできないか。

**福祉けんこう課長** 村では、

10月から徴収予定の副食費

等に関して、各保育施設と

の調整や、補助要綱の見直

しを行い、全額補助できる

よう進めていく。





清水 満男

議員



## 今後の旧高橋家住宅 関連施策の 展開について

一般公開は令和3年度から  
4年度を目途に進めている

り入れ、詳細設計をした。令和元年度に駐車場の造成工事、2年度に耐震補強工事と家屋の修復工事、その後、付帯施設を含む整備工事を実施し、一般公開は令和3年度から4年度を目途に進めている。

②エコツーリズムと関連する観光スポットとなるよう地元の意向を活かして公開したいと考える。

**質問** 今年度の駐車場の造成工事は、どの程度の規模か。また、地元では食事の提供や宿泊もできる施設を望んでいるが、設計に計画されているか。

**教育課長** 都道より出入りができるよう、普通乗用車が4台程度駐車できる広さとなっている。また、地元の意見を反映して、来客用に食事ができるような場所と宿泊ができるような部屋、そして浴室の設置を考えている。

**教育長** ①地元の意見も取

清水 兵庫

議員



## 小・中一貫教育及び 新学習指導要領に ついて

自ら考え行動する「生きる力」を  
培つちかうことである

るが、それは何か。  
③校舎分離型のメリット・デメリットは何か。また、将来に向け、一体型の施設を考えているか。  
④新学習指導要領の完全実施に向けて、実施状況の報告や学校訪問等の指導を行っている。

④新学習指導要領の完全実施・指導方法をどのように管理するのか。

**教育長** ①成果は、専門性を活かした交流授業と、児童・生徒・教員・保護者の心の壁が低くなった事と考える。

②習得した知識だけではなく、自ら考え行動する「生きる力」を培うことである。

③一体型校舎が望ましいと考えるが、施設分離型でも早く一貫教育に移行できる点など、メリットは多いと考える。デメリットは、連携不足や二つの施設の維持管理費の問題等がある。施設は、一体型が望ましいと考えており、昨年の総合教育会議で、村の施設更新計

「確かな学力」を掲げてい

**質問** 村は、平成23年度から教育目的指導計画書等により、教育課題に「確かな学力」を掲げ、一貫教育を実施している。そこで以下について伺う。  
①一貫教育のこれまでの成果は何か。  
②義務教育9年間を通じて



## 議会改革検討委員会を設置しました

議会のあり方について、各議員から意見を求め、村民の皆様「開かれたわかりやすい議会」を目指します。委員会では定数・報酬などの調査及び検討を行い、議会改革を進めてまいります。

委員長 清水 兵庫  
委員 野村 雅巳  
委員 森田ちづよ

副委員長 浜中 由造  
委員 峰岸 茂  
委員 清水 満男

書記 松村 哲朗  
委員 中村 賢次  
委員 山崎 源重

### 9月議会のお知らせ (予定)

- 議会運営委員会 8月27日(火)
- 定例会初日 9月 2日(月)
- 常任委員会 9月 5日(木)  
9月 6日(金)
- 決算特別委員会 9月10日(火)
- 定例会最終日 9月13日(金)

### 編集後記

新元号のもと、皆さまいかがお過ごしでしょうか。何かを始めるのには良い機会かもしれません。

檜原村議会も新たな議員、役職構成となりました。さて、人生百年と言われていきます。百年暮らすには、まず健康が一番かと思いが、巷では、老後生活していく上で〇千万が足らなくなるなどと、実しやかに話されているようです。

人間の一生は短い、儂いというたとえで使う歌があります。あの織田信長が好きな幸若舞の「敦盛」です。この「敦盛」の一説にこうあります「人間五十年、下天の内にくらぶれば、夢幻のごとくなり、一度生を受けた滅せぬ者のあるべきか」です。ここで、人間の五十年を夢幻として比較している下天とは何かであります。下天とは仏教の宇宙観の一

つで、人間界に対し天界という呼び方で、下天も天界だそうです。そこに住む人の時間の進み方は、人間界と違い、下天の一日が人間界の五十年の長さにあたり、人間五十年として五十年いきたとすると、下天では一日だけ生きたことになるそうです。

これからも、ものの見方、考え方には、その対象とするものによって違ってくると思いますので、いろいろ考えて行動していきます。

新メンバーで発行します、議会だよりを、皆様に分かりやすい内容で、お知らせできますよう心掛けてまいります。

厳しい暑さが続きます、お身体にご自愛いただければと思います。

(清水)  
委員長 清水 兵庫  
副委員長 野村 雅巳  
委員 森田ちづよ  
委員 松村 哲朗